

令和7年度第1回 仙台市立病院経営評価委員会議事録

- 1 日 時 令和7年8月25日（月）18:30～
- 2 会 場 仙台市立病院 3階第3会議室
- 3 出席者 藤森研司委員長、今西陽一郎委員、島村弘宗委員、鈴木信子委員、矢川昌宏委員、大和一美委員（委員6名）
奥田病院事業管理者、渡辺院長、八木医療管理監、山口理事、大上次長（兼）経営管理部長、佐々木看護部長、中道健康福祉局保健衛生部参事、太田経営管理部参事兼総務課長、堀江経営医事課長、小林情報システム課長、岡部財産管理課長、中田総合サポートセンター副センター長、吉野経営医事課主幹兼企画医事係長、鈴木財務収納係長、鏡健康福祉局保健衛生部医療政策課企画調整担当係長、笹野健康福祉局保健衛生部医療政策課医療政策係主事、今泉財務収納係主事、結城診療情報管理士、渡辺診療情報管理士、渡邊診療情報管理士
- 4 欠席者 荒井由美子委員

- 5 次 第
 - (1) 開 会
 - (2) 挨 拶
 - (3) 報 告
 - ①令和6年度 事業実績及び決算について
 - (4) 議 事
 - ①「仙台市立病院経営計画（2022年度～2024年度）」実績報告について
 - ②「仙台市立病院経営計画（令和7年度～令和9年度）」進捗状況について（令和7年4月～6月実績）
 - (5) 閉 会

配付資料

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 資料1-1 | 令和6年度事業実績 |
| 資料1-2 | 令和6年度決算の状況 |
| 資料2 | 「仙台市立病院経営計画（2022年度～2024年度）」実績報告 |
| 資料3 | 「仙台市立病院経営計画（令和7年度～令和9年度）」進捗状況 |

<議事概要>

- (1) 開会
- (2) 挨拶
奥田事業管理者から挨拶。
- (3) 報告
 - ・ 会議公開の確認⇒異議なし（傍聴者なし）。
 - ・ 議事録署名委員を今西委員、鈴木委員に依頼。⇒了承。

- ①令和6年度 事業実績及び決算について
(事務局から資料1-1、資料1-2を説明)
(質疑応答)

【矢川委員】

他の自治体病院や民間病院にも携わっているが、人件費と経費の高騰でどこの病院でも減収減益となっている。基本的に経費は課税仕入であるが、自治体病院の場合、課税仕入にかかった税額の大部分が控除対象外消費税となってしまう。課税売上割合が大きい民間企業であれば、課税仕入にかかった税額分、法人税が減額される。さらに、費用の増加に対して一般企業がどのような対応をするかというと、値上げであるが、病院の場合は診療報酬の改定で

価格が決定するため、非常に厳しい状況となっている。控除対象外消費税の問題についても、保険診療に消費税をつけてもらうか、あるいは控除対象外消費税分の還付を受けるか、そういう形の制度改正がない限り、制度的に難しい状態となっている。各協会等からも、このような問題に対して働きかけはしているが、なかなか進んでいない状況である。

令和5年度と令和6年度の経常キャッシュフローを計算してみたが、令和5年度は9億3千万円のプラスであったものの、令和6年度は2億3千万円のマイナスとなっているのが気になっている。

令和6年度決算において、累積欠損金は100億円を超えている。一方で、資本金は178億円であり、累積欠損金と資本金を合算すればプラスである。しかし、東洋経済の記事で累積欠損金が増えられたこともあるため、財務戦略として減資は考慮しておいた方がよい。

また、最近の包括外部監査において、減損会計が増えられたことが多い。固定資産の帳簿価額と将来キャッシュフローを比較し、帳簿価額が将来キャッシュフローを上回った場合、減損損失を計上するもので、地方公営企業も対象となるが、地方公営企業はほとんど減損損失を計上や検討を行っていない。監査委員の方も、そこを指摘するような事案が出てきているので、将来キャッシュフローの計算を行うなど、対策をした方がよい。

【今西委員】

令和6年度決算における収益的収支を拝見し、職員給与費の増加については仕方ないとして、材料費が若干ではあるが減少している点は良い部分だと思った。一方で、医業収益に対する経費の比率が16.7%から18.4%と上昇している。一般的に、他の病院の場合、この比率の上昇要因としては電気代や委託料の増加が挙げられるが、貴院における具体的な要因について教えていただきたい。

【仙台市立病院事務局 鈴木財務収納係長】

令和5年度と令和6年度を比較して、経費全体(税抜き)で2億7千万円上がっている内訳としては、主に委託料であり、委託料のみで2億5千万円上がっている。一方で、光熱水費は49万円下がっているため、経費が上がった要因としてはやはり委託料となっている。

【仙台市立病院事務局 堀江経営医事課長】

補足させていただくと、委託に関しては複数年で契約しているものが多く、令和6年度が切り替わりの時期になっているものが複数あり、以前は低廉な価格で契約していたが、昨今の人件費の高騰に伴い、委託料が値上がりした影響を受けている。

【今西委員】

資料1-1だが、令和5年度から令和6年度にかけて、新入院患者数が増えているにもかかわらず、総延入院患者数が減っているのは、平均在院日数が少し短くなっていることと関連していると思われるが、この辺の事情を教えてください。

【仙台市立病院事務局 奥田病院事業管理者】

お見込みの通り、平均在院日数の短縮が、総延入院患者数の減少に影響している。そのため、在院日数の適正化を図りながら、病床稼働率の向上に努めている。

(4) 議事

- ①「仙台市立病院経営計画(2022年度～2024年度)」実績報告について
(事務局から資料2を説明)

(質疑応答)

【藤森委員長】

実績の中で何か特徴的なことがあれば教えてもらえないか。

【仙台市立病院事務局 堀江経営医事課長】

前回の委員会で報告した内容から大幅に変わっている点はない。

【今西委員】

資料2の4ページにおける目標と実績「④手術件数」について、令和6年度の実績値が目標値を上回っているとともに、令和5年度よりも上回ったことは非常に良い傾向ではないかと思う。一方で、「③ICU病棟 新規入院患者数、HCU病棟 新規入院患者数」の令和6年度の実績値が令和5年度よりも増えているものの、「③ICU病棟 病床稼働率、HCU病棟 病床稼働率」が目標値を下回っているようだが、特にICU病棟の病床稼働率については何か理由があ

るのか。

【仙台市立病院事務局 奥田病院事業管理者】

ICU 病棟においては、重症度、医療・看護必要度の基準を意識するあまり、入室患者の適応が厳しくなる傾向が見受けられる。また、当院の ICU 病棟では、重症度、医療・看護必要度を十分に満たしている状況であるため、今後も重症度、医療・看護必要度は意識しつつも、一定程度、重症度、医療・必要度基準を下回るが ICU での管理が必要とされる患者や術後患者についてもより積極的に受入れていきたいと考えている。

【藤森委員長】

ICU 病棟の新規入院患者数における令和 6 年度と令和 5 年度の比較では、大きな変動はないが、それ以上に稼働率が低下しているということは、おそらく在室日数が短縮していることが要因ではないかと考えられるがいかがか。

【仙台市立病院事務局 吉野経営医事課主幹兼企画医事係長】

新規入院患者数も減少傾向にあるが、ICU 病棟における在室日数が約 1 日短縮されていることが、稼働率低下の主要因であると考えられる。

【藤森委員長】

患者の状態に応じて入室判断することは重要ではあるが、重症度、医療・看護必要度の基準に一定の余裕がある場合には、病床活用方法について、もう少し柔軟に工夫してもよいと考ええる。

【矢川委員】

資料 2 の 6 ページにおける目標と実績「①紹介患者数、逆紹介患者数」の令和 6 年度の実績について、逆紹介患者数よりも紹介患者数が多いものの、資料 1-1 「令和 6 年度事業実績」の逆紹介率が紹介率よりも高くなっているのは、算出定義などの違いなのかを教えてください。

【仙台市立病院事務局 中田総合サポートセンター副センター長】

資料 2 における紹介患者数は、初診患者及び再診患者のうち、他の医療機関から診療情報提供書を添えて当院に紹介された件数を示している。一方で、資料 1-1 における紹介率の算出に用いている紹介患者数は、初診患者のうち、診療情報提供書を添えて他の医療機関から紹介された件数であり、算出定義に違いがある。そのため、資料 1-1 の紹介患者数は資料 2 に比べて少なくなり、紹介率を算出した際に逆紹介率よりも低くなる結果となったと考えられる。

②「仙台市立病院経営計画（令和 7 年度～令和 9 年度）」進捗状況について

（令和 7 年 4 月～6 月）

（事務局から資料 3 を説明）

（質疑応答）

【今西委員】

資料 3 の 1 ページ「④急性期充実体制加算の維持・確保」に関連して、貴院は急性期充実体制加算 1 を取得していると思うが、今後も維持していくためには、消化管内視鏡手術の件数年間 600 件以上又は心臓胸部大血管手術の件数年間 100 件以上のいずれかの要件を満たす必要があり、非常にチャレンジングな目標となっているが、その 2 つの直近の実績を教えてください。

【仙台市立病院事務局 吉野経営医事課主幹兼企画医事係長】

令和 7 年 4 月から 7 月速報値までの実績で消化管内視鏡手術は 121 件、心臓胸部大血管手術は 15 件となっている。また、月平均では、消化管内視鏡手術は 30 件、心臓胸部大血管手術は 3 件となっている。

【今西委員】

現在の実績では、急性期充実体制加算 1 の維持は、かなり厳しい状況ではないかと考える。そのため、一定の減収が想定される中で急性期充実体制加算 2 へ移行しながら収益確保のための戦略を検討するか、あるいは今後、消化管内視鏡手術と心臓胸部大血管手術のいずれかの要件を満たすことを目指し、加算 1 の維持に向けた戦略を検討していくか、いずれかの選択が求められてくると考える。

【藤森委員長】

資料3の1ページの「令和7年度 主な取り組み状況」の記載に関して、ICU及びHCU病棟における医師の24時間配置体制を維持していくのは大変だと思うが、夜間は医師がICU病棟1名、HCU病棟1名、管理当直1名という配置になっているのか。

【仙台市立病院事務局 吉野経営医事課主幹兼企画医事係長】

ICU病棟1名、HCU病棟1名、救命救急センター当番6名、小児科医師3名、産婦人科医師1名、ドクターカー1名の配置となっている。

【藤森委員長】

宿日直許可の医師とそれ以外の医師と分けるとどんな感じか。

【仙台市立病院事務局 渡辺院長】

深夜帯の救急当直医については、宿日直許可の扱いとなっており、ICU病棟及びHCU病棟の配置医師については、夜勤扱いである。

【矢川委員】

資料3の10ページ「①経営参画意識を高める働きかけの実施」の取り組み状況について、新規採用職員を対象に当院の経営状況に関する説明会を開催するとの記載があるが、どの程度の経営状況の説明をしているのか。

【仙台市立病院事務局 吉野経営医事課主幹兼企画医事係長】

年度末に管理者並びに院長から、全職員を対象に来年度の新たな取り組みや現段階の現金預金状況、収支状況を説明している。また、新規採用職員にも年度末に説明した同じ内容を説明している。

【矢川委員】

資料3の11ページ「③施設改修や手術室増設に向けた検討」の取り組み状況について、施設（設備）の老朽度や故障履歴等の現状調査に関する記載があり、最終的に修繕引当金の算定にも関係してくるものと考えられるが、現時点でどの程度まで調査が進められているか教えていただきたい。

【仙台市立病院事務局 岡部財産管理課長】

施設の老朽度等に対しての調査については、現在把握調査を開始した段階であり、詳細な状況までは把握できていない。年度内に整備計画が策定できるよう、引き続き調査を進めていきたい。

【矢川委員】

資料3の12ページ「⑤職員が働きたいと思う勤務環境の整備」の取り組み状況に関して、働きやすい環境づくりと職員満足度の維持・向上のために職員満足度調査を実施するとの記載があるが、内部で実施されているものなのか。また、全職員対象に実施しているのかを教えていただきたい。

【仙台市立病院事務局 太田参事兼総務課長】

当院では、全職員を対象としたアンケート形式で実施している。

【藤森委員長】

アンケートフォームは、外部委託で作成しているのか。また、アンケート内容は毎年変更しているのか。

【仙台市立病院事務局 太田参事兼総務課長】

アンケートフォームは院内で作成しており、内容は経年変化を把握するために同じ内容で実施している。

【矢川委員】

資料3の13ページの目標と実績「②各種ハラスメント対策における防止対策研修実施回数」に関して、当該研修は院内の職員によって実施されているものなのか、それとも外部講師を招いて実施しているものなのか。また、全職員を対象に実施しているものなのか。

【仙台市立病院事務局 太田参事兼総務課長】

当該研修は、外部講師を招いて、全職員を対象に実施している。

【藤森委員長】

当該研修は、年1回実施していくのか。

【仙台市立病院事務局 太田参事兼総務課長】

現時点では、年1回の実施で進めていく予定である。

【矢川委員】

資料3の13ページ「②研修医確保に向けた広報活動」の取り組み状況について、企業合同説明会への参加との記載があるが、どのような病院と合同で行っているのか。

【仙台市立病院事務局 八木医療管理監】

当院では、NPO法人良陵協議会が主催する加盟病院による合同説明会に参加するとともに、マイナビやレジナビなど、企業主催で仙台市内にて開催される合同説明会にも参加している。また、企業主催の説明会では、宮城県内の病院が中心となって参加しているほか、一部ではあるが関東地方の病院が参加することもある。

【島村委員】

資料3の12ページの取り組み状況について、3名の看護師が皮膚・排泄ケア認定看護師の受験を予定しているとの記載があるが、現在、貴院には当該認定看護師がいないということか。

【仙台市立病院事務局 佐々木看護部長】

当院には2名の皮膚・排泄ケア認定看護師がいるが、さらに増員したいと考えており、今年度3名受験する予定している。

【鈴木委員】

資料3の12ページの取り組み状況で看護師の負担軽減のためにバイタル連携システムの導入準備を進めているようだが、離職防止やいろいろな点に役に立つと思うので、ぜひ導入していただきたい。

(5) 閉会

以上

議事録の記載内容につきまして、すべて相違ありません。

令和 年 月 日

議事録署名委員
